

※このメールマガジンはMSゴシック等の等幅フォントでご覧ください。

★もくじ★

〔1〕 1分で分かる姫路河川国道事務所の仕事「所長の一分メモ」  
石橋を叩いて渡る

〔2〕 お知らせ  
河川愛護モニター委嘱書交付式を行いました。

〔1〕 所長の一分メモ file18

「石橋を叩いて渡る」。用心の上にも用心をするたとえです。石という天然の丈夫な材料が組み合わさって出来た橋は、非常に頑丈で大きな地震でも直撃しない限り壊れません。そして半永久的に長持ちします。

しかし、皆さんが利用するほとんどの橋は、鋼材やコンクリートで出来ていて、時間の経過とともに劣化します。特に鋼材は風雨にさらされるとどんなに塗装を入念に行っても錆が生じます。鋼材はさびると薄くなり強度が落ちてしまいます。

姫路河川国道事務所の管内には450もの橋があり、そのほとんどが完成後30年以上を経過した、鋼材やコンクリートでできた橋です。

先月7月29日に国道29号の宍粟市一宮町にある三軒家橋の歩道橋の鋼材が、長年の風雨で腐食し、非常に危険な状況であることが点検や強度計算の結果わかり、安全を最優先し通行止めになりました。

この歩道橋は通学路にもなっている通行人の多い橋でしたが、万が一のことを考えての措置です。現在、交通誘導の専門家が現地で安全を確保しながら、歩行者の誘導を行っています。今日にも応急復旧の緊急工事に着手し、お盆前には完了させ通行止めの解除を予定しています。

宍粟市役所や自治会、学校等には即座に連絡を入れ、ご理解とご協力を頂いていますが、不自由をおかけしておりますこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

ただ、このような状況は他の橋でも起きないとは限りません。特に開通後35年以上経過し、トラック交通量がべらぼうに多い姫路バイパスでも橋の劣化が目立ち深刻な状況となっています。

事故発生や通行止めという事態になれば播磨地方のみならず影響は全国に広がります。今、姫路河川国道事務所の最重要課題として古い橋の定期点検や緊急補修を行っているところです。国道だけでなく県道や市道でも同じような状況と思います。

これからも利用者の安全と安心、トラック輸送による全国的な経済活動を支える国道でありつづけるために全力を尽くして参ります。  
「石橋を叩いて渡る」ような気持ちをもって。

〔2〕 お知らせ  
河川愛護モニター委嘱書交付式を行いました。

国土交通省では、日常生活の中で河川について気づいたことを知らせていただいたり、自治会や子供会などの地域の団体を通じて、河川愛護の啓発を行っていただく「河川愛護モニター」を地域住民の方に委嘱しています。

